



#### 視点 4

より多くの人々の  
「健康な食生活」を  
実現するために

## 食事サービスで培ったノウハウを活かして より多くのお客様に当社ならではの 「食」を提供していきます。

日清医療食品は、  
「栄養バランスのとれた、おいしく、食べやすい食事」を  
求める人々のニーズに応えるために、2012年4月、食事を自宅までお届けする  
新規事業「食宅便」サービスを開始しました。



### 医療・福祉施設で培ったノウハウを 成長市場へ

社会保障費の抑制が叫ばれるなか、わが国では現在、「病院・施設から在宅へ」という制度改革の方向性が示されています。従来、病院や介護施設に入院・入所した人たちが、今後は自宅で過ごすケースが増えていくのです。これまで、医療・福祉施設で食事を提供してきた日清医療食品としては、在宅の人々にも食事サービスを提供する必要性や社会的責任が生じるのではないかと考えました。

そんな見通しをもとに、数年前から在宅療養や在宅介護をされている方を対象とした「在宅配食サービス」を想定し、市場規模

や業界動向を調べる事業化調査を実施。調査の結果、市場は私たちが想定していたより遥かに急速に拡大しつつあることがわかりました。超高齢化時代を見据えて、給食会社や食品メーカーだけでなく、外食産業やコンビニなどさまざまな企業がシニア向け食品の開発やネット通販、宅配サービスなどを開始しており、そのシェアもめまぐるしく変化していったのです。

この急成長市場のなかで、在宅向けにどのような食事サービスを提供すれば、多くの人々の生活の質の向上に貢献できるのだろうか…社内でも検討した結果、「医療・福祉施設で培ってきた栄養管理や献立のノウハウ」「全国規模で1日97万食以上を提供し続けてきた供給力」という当社がもつ強みを活

かすために、「健康的で安全な、おいしい食事を求めるすべての人々」を対象とした全国規模での事業化を決定しました。

### バリエーション豊かな 献立を開発

事業化決定を受けて、プロジェクトチームを結成。早速、商品開発に取りかかりました。商品開発では、一般食でありながら、自宅療養者や高齢者にも食べてもらえる献立を目指し、「おいしさ」「食べやすさ」と同時に「低カロリー」「栄養バランス」などを重視して、仕入れから食材加工、調理工程に至るまで、当社のもつノウハウや知恵をすべて投入していきました。加えて、季節性・地域性

や世代による食の好みの変化などを踏まえて数多くのバリエーションを揃えました。開発したメニューには医療・福祉施設の厳しい食事基準のなかでおいしさを追求してきた当社ならではの引き出しの多さが反映されていると自負しています。ちなみに、食材の仕入れや生産時の安全性や品質確保については、医療・福祉施設の食事サービスと同様の仕組みを構築しています。

また、塩分・カロリーを抑えた「ケアシリーズ」をラインナップ。医療・福祉施設でのノウハウを存分に活かし、きめ細かく広範なニーズにお応えしております。

### 「食宅便」ブランドの 確立へ向けて

こうして2012年4月より事業を開始し、インターネットなどを通じて想定を遥かに超える多くの方々に食事を召し上がっていただいています。今後もより多くの方々に「おいしい」「安心」「楽しみ」と言ってもらえるよう、販売データを分析しながら商品バリエーションをさらに増やしていくと同時に、広告展開も強化していく方針です。

そして、「日清医療食品」というNo.1ブランドに、今度は「食宅便」というブランドを確立し、事業の「第2の柱」とすべく挑戦し続けていきます。

### こだわりのおいしさをご自宅へ

食宅便は、栄養バランスを第一に素材を厳選し、調理の仕方を工夫した“こだわりのおいしさ”をお弁当としてご自宅へお届けするサービスです。たとえば、根菜類のシャキッ、サクサクといった歯ごたえのこだわり。じゃがいものホクホク感、お肉のボリューム感が楽しめるサイズやカットのこだわりに、食べやすくするために隠し包丁を入れるこだわり。目でもおいしさを楽しめる彩りへのこだわり。さらに、これらのこだわりを存分に発揮しつつ、カロリーや塩分を控えながらおいしさのクオリティは

決して下げない味へのこだわり。食宅便のお弁当一つひとつに、日清医療食品が永年培ってきた食に関する技と知恵が詰め込まれています。

#### 食宅便の栄養価目安

エネルギー	320kcal
たんぱく質	19.0g
脂質	15.0g
塩分	2.5g



食べたいときに、  
すぐおいしい。



ブランドロゴ

営業本部  
在宅配食サービス部 課長  
**斉藤 政人**  
さいとう まさと



当社の管理栄養士・栄養士を代表して結成された「食宅便 健康気にし隊」によるプロモーションを実施。